

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サンクスラボ・アフタースクール佐賀			公表日	2026年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・活動内容によって部屋を分け、十分なスペースを確保しながら安心して過ごせる環境を作っている。	今後も、特性に合わせた環境作りを行い、安心して過ごせるよう努めてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・法律上に必要な人員は配置できているが、行事内容や送迎によっては人で不足に感じている。	法令に基づいた配置基準を厳守し、適切な運営を行ってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・視覚的にも構造化された環境を作っています。 ・スロープや手すりも備え付けられている。	今後も継続して、特性に合わせた環境整備を実施してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・職員、子どもたちと毎日清掃を行っており、清潔の保持に努めている。 ・活動スペースも十分に確保できている。	今後も継続して実施してまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・その時の児童の状況により、臨機応変に使用できるスペースがある。	今後も状況に応じて対応できるよう、体制と環境を整えてまいります。
営	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・支援や行事に関しては、職員全体で計画・実施・振り返りを行い、よりよい支援が提供できるようにしている。	今後も継続して実施してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・保護者向けの評価表を活用し保護者の意向を聞き取りながら、職員間で協議し業務改善を行っている。	今後も、評価等を参考にさせていただきながら改善に努めてまいります。

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・朝礼、終礼などで意見を出し合い業務改善につなげている。	今後も引き続きご意見を集約できるよう、会議や面談等を実施していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・外部ではなく、社内による評価を実施している。	第三者による外部評価は導入しておりませんが、毎年社内の専門部署が事業所の評価を行っております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・内部研修に限らず、外部の研修にも参加しやすい。また必須の研修に関しては、職員全体で取り組むことができている。	今後も、社内の研修チームによる内部研修の実施や、外部研修の周知を行い職員の資質向上に努めてまいります。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムの作成・公表を行っている。	今後も継続して実施していきます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・日頃から児童に対し、職員間で統一したアセスメントを行っており、保護者や児童と面談を行い計画を作成している。	今後も児童の様子や状態をアセスメントしていきながら、保護者様のニーズを踏まえた計画を作成していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・職員同士で支援内容やプロセスを共有し、計画を作成している。	今後も職員同士で適切な情報共有を行い、質の高い支援が提供できるように努めてまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・誰もが計画内容を把握し、実際にどんな支援をすればいいのかが具体的に示され、アセスメントまで出来るようなシートを活用し支援を行うことができている。	今後も統一した支援の提供ができるよう、努めてまいります。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・保護者様からは医療や専門機関からのアセスメント情報を提供いただき、事業所内でも独自のアセスメントを実施していきながら、情報収集を行っている。	今後も保護者様より、医療や専門機関からの情報を提供いただき、事業所内においてもポイントを絞ったアセスメントシートを活用し、職員間で統一した情報収集ができるようにしていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・5領域に沿って計画を作成している。	今後も継続して実施してまいります。

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・職員間で、意見を出し合いお互いがサポートしながら実行することができている。	今後も職員間で協議し、よりよい活動プログラムを立案していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・イベントだけに限らず、支援者と勉強の時間にも様々なカリキュラムを設定し実践している。	職員だけでなく、児童や保護者様の意見を取り入れ活動が固定しないように工夫してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・状況や内容によって実施できている。	個別の療育をメインとしつつ、将来を見据えた集団スキルの習得も計画的に実施していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼時に、その日の活動内容を共有し実施できている。	今後も、職員間で情報を共有し協力して支援に入ることができるよう努めてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・終礼時に振り返りができている。また内容を記録に残すことで、終礼に参加できなかった時も、内容を把握できている。	今後も、場面に応じた個々の記録を取れる状態を継続しながら、アセスメントを重視し根拠に基づいた支援に繋げてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々の支援記録のほかに、各活動エリアにモニタリングシートがあり都度記入し閲覧できる状況である。	今後も、場面に応じた個々の記録を取れる状態を継続しながら、アセスメントを重視し根拠に基づいた支援に繋げてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・環境設定～支援実施～モニタリングまでの流れが確立している。日頃から、シートを活用しアセスメントし記録に残せる状態である。	今後も、適切に情報収集していきながら必要に応じて見直しをしていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		・4つの基本活動を念頭に、日ごろから計画的に活動を組み立てている。	今後も、基本的な活動を取り入れながら支援を実施できるよう準備してまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・個々の発達状況を踏まえ、段階に分けて「選択」ができるようになっている。	今後も、発達状況に合わせて「自己選択」「自己決定」ができる環境を作っていきます。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・主に、児童発達管理責任者が参加している。	今後は、担当者も参加できるような体制を整えることができるように努めてまいります。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	・医療との連携は、保護者を通してしか出来ていない。	今後は連携できる仕組みを検討し、実施していきたいと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・行事、下校時間に関しては保護者を通して共有いただく事を前提にしている。また、問題があった時のみの情報共有となっている。	今後は、あらかじめ面談を設定し情報共有する機会を設けていき、連携機能を高めていきたいと思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・児童によっては、保育園・専門機関を交えた移行会議が実施される。	今後も利用開始前の情報収集を適切に行いながら、スムーズに事業所の利用が開始できるよう努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・事業所内での情報を整理し、必要に応じて提供できる準備ができています。	今後も引き続き情報整理を行い、移行される際にはスムーズな移行ができるようにしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	・機会がない	専門機関との連携は出来ており、助言をいただいております。今後も適切に連携ができるようにつとめてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・機会がない	集団での活動や不慣れな相手との交流を苦手とする児童もいるため、今後は段階的に慣れて行けるよう検討し交流の機会を提唱してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	・子ども部会がない	佐賀地区には子ども部会がないため、発足された際には積極的に参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や連絡帳において、情報共有ができています。また、適宜面談を行っている。	今後も、密に情報共有を行い共通理解を深められるようにしていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・今後検討していく。	保護者のニーズを把握し、勉強会や研修会等の交流の機会を設けていきます。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明されている。	今後もわかりやすい説明を心がけていきます。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点の踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		・個別支援計画の同意のみならず、必要に応じて同意を得ている。	今後も継続して実施してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		・面談時に、保護者と一緒に計画内容を検討し、保護者のニーズと支援者の意見のすり合わせを行っている。	今後も定期的な面談に加え、相談等にも対応していきながら計画の作成と見直しを行ってまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・必要に応じて、電話や対話での相談対応を行ったり、家庭内での支援に必要な支援ツールを作成し提供している。	今後も適宜、相談対応を行っていきながら共通理解を持って支援ができるよう努めてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>	・保護者向けアンケートにて、交流会や勉強会についてのニーズを聞き取ったが、開催には至っていない。	今後、アンケート内容を検討し、開催できるように準備を進めてまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		・今まで苦情がなかったので、どういった対応をしていくのが実際にやってみないとわからない部分もある。	苦情でなくとも、些細なことでもお話を伺う姿勢を持ち、迅速に対応してまいります。
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		・AS新聞やSNSで定期的に発信できている。	今後も継続的に情報を発信してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		・鍵付きのロッカーで管理している。	引き続き、個人情報の取り扱いには十分注意してまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		・児童や、保護者に対して情報の伝達方法、内容、次期等を考慮して周知をしている。	個々の状況に合わせた配慮を行い、意思疎通を図ってまいります。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>	・今後検討していく。	実施する内容を検討し、地域との交流が図れるように努めてまいります。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルが準備されており、すぐに閲覧できる状態である。	周知や訓練は定期的に行われております。実情に応じて訓練内容の修正を検討し、対応できる体制を整えています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・計画も策定できており、年2回の訓練も実施できている。	非常災害に備えた訓練は実施できているので、今後は保護者様にも周知していきたいと思っております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・利用開始前に情報収集ができています。	利用開始時のみならず、定期的に聞き取りを行い情報の更新を行ってまいります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・対象児童が1名いるが、重度ではなく避ける程度なので指示書は貰っていない。	定期的に情報を収集し、更新できるように努めてまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、きちんと周知されている。	今後も継続して実施してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・取り組み内容等、面談時に説明している。	今後も継続して実施してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・朝礼、終礼時に共有できるようになっている。	今後も密に情報共有をしていながら、些細なことから事故につながらないように努めてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・毎年、全職員が参加している。	今後も、虐待防止の意識向上に向けて研修を行ってまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・対象児童がいない。	対象となる児童の利用はありませんが、研修を通じて身体拘束に関する知識を深めてまいります。	